

□□ _____ □□

2023年度の事業企画の実行案の確認をするためオンライン役員会が6月14日に開かれました。
主な事業計画と実行案等は以下の通りです。(順不同)

- ・自費出版アドバイザー講座のさらなる充実⇒10月27日(金)ポイジャーの鎌田純子社長に電子書籍文化についてポイジャーの視点を話していただく予定です。
来年2月頃に3回目予定。
- ・会員拡大と文化賞の宣伝をジャグラー以外の組合等に宣伝する⇒全印工連鳥原副会長のアドバイスで、業界紙への宣伝を検討。
- ・文化賞の協賛金を現状より30万円以上プラスする⇒6/27主催者のジャグラー岡本会長に会って説明。
- ・JSNのウェブサイト日本一の自費出版サイトにする⇒チーム編成を確認して協議に入る。
- ・2023フェスティバルの運営⇒担当者選案で運営決定。司会進行は昨年通り(鳥原理事、宮川理事)。
受賞作品の即売会は実施するが担当者増やす。懇親会は実施せず、代わりに選考委員との懇談の場を設ける。
- ・過去受賞作品の全国図書館巡回展示⇒展示会の運営フォーマットを岩根副代表が作り、それをもとに可能な会員から順次開催する。
- ・アドバイザー試験の開催⇒試験運営体制がまだ十分でないので、宣伝は控えめにしている。
- ・「2024高知全国大会」の日程調整⇒大型連休直後と金曜日を避け、2024年は5月18日(土)に開催。
- ・メルマガのアーカイブ化⇒バックナンバーをPDF化して進めることに決定

□□ _____ □□

2. 自費出版事情... ~会員便り~№66

□□ _____ □□

電子図書館へのコンテンツ寄贈について

中西出版株式会社
佐藤 香

5月の旭川大会では、弊社社長の林下が電子図書館との関わりについてお話する機会をいただきました。その後、改めて窓口の北海道デジタル出版推進協会(HOPPA)の担当者に確認したことを、補足的に共有したいと思います。

HOPPAでは現在、まず札幌市電子図書館向けに年2回のコンテンツ収集・販売を行い、その後電子取次を通して全国の公共・学校電子図書館への配信手続き(＋一般電子書店向けの配信)をしています。この場合、電子図書館の選書担当者は紙書籍と同様に、図書リストから選書し購入することとなります。

今回HOPPA担当者から、上記以外の方法として、各図書館が独自の「地域資料」を登録できる仕組みを利用し、デジタルデータの「寄贈」が可能な場合があることが聞けました。
これは各図書館と直接受入交渉をし、データを提出する方法で、システムへの登録手続きは図書館側が行います。同協会の「北海道デジタル絵本コンテスト」は、この方式で受賞作品を道内の電子図書館に寄贈しているそうです。

ただし個別交渉となるので、受入可否、受入データ形式、登載までの時間には各館でかなり幅があるとのこと。電子図書館導入館については電流協HPの公開資料でご確認ください。
また、既に電子取次と取引がある場合は、販売の窓口を紹介いただけることもあるようですので、取次までご相談ください。

業務連絡的になってしまいましたが(しかも長い)、頭の片隅に置いていただき、自費出版物の電子での「寄

贈」のご要望がある際にご活用いただけると幸いです。

□□ _____ □□

☆ 知つとこ高知 その 2

□□ _____ □□

「土佐弁は論理的!？」

よく「土佐弁はネズミやサルみたいだ」と言われます。

語尾に「ちゅー」とか「きー」がつくからだと思います。

九州熊本から高知に来た私は、最初はやはり土佐弁に戸惑いましたが、しばらくすると土佐弁にも英語のような文法があることに気がつきました。

1、「～しゆう」→ 現在進行形

「雨が降りゆう」は「雨が降っている」という意味なので、現在進行形です。

2、「～しちゆう」→ 現在完了形

「雨が降っちゆう」は「雨が(すでに)降っていた」という意味なので、現在完了形です。

(今はもう雨はもう上がっている状態になります。)

3、「～しよった」→ 過去進行形

「雨が降りよった」は「(そのときちょうど)雨が降っていた」という意味なので、過去進行形になります。(「あやうく～するところだった」という意味で使われる場合もあります。)

4、「～しちよった」→ 過去完了形

「雨が降っちよった」は「(そのときすでに)雨が降っていた。(そのとき雨は上がっていた)」という意味なので、過去完了形になります。

※ちなみに、「～してあげる」という標準語が土佐弁では「～しちやる」になるので、完了形の「～しちゆう」と組み合わせると訳が分からないことになります。

(例)「予約取っちょつちやつちゆうき、言うちよつちやつてや。」

ほかにも「ないがやないが?」(ないのではないか)や「～にかーらん」(～だろう。「～に変わらん」から来ている?)など否定語を使った婉曲的な表現もよく使われます。

四国の中でも独特で荒々しいイメージの土佐弁ですが、意外に文法として論理的だったり、婉曲的で繊細な部分もあるのです。

リーブル出版(株式会社リーブル)

代表取締役 坂本 圭一郎

★あとかぎ

今年度の事業計画にもありましたように、このメルマガのアーカイブ化を進めていました。早速カタチになったので、お知らせします。

